

# 『東日本大震災以後の取り組みについて』

## 第9回新宿医師会勤務医支部総会 ご案内

平成24年2月29日（水） 19:00～21:00

国立国際医療研究センター 5階大会議室

### 1. 基調講演：

「311後の新宿、東京」 35分

東京医科大学病院 救命救急センター教授 太田 祥一 先生

### 2. 新宿医師会の取り組み： 20分

「新宿区医師会の災害時医療救護活動について」

新宿区医師会 救急・防災担当理事 山本 史郎 先生

### 3. 4基幹病院からの報告： 各10分

1) 大久保病院副院長 稲葉 茂樹 先生

「大久保病院における災害対策の取り組み（第2報）」

2) 社会保険中央総合病院 副院長 佐原 力三郎 先生

「3.11での経験とそれに基づくその後の取り組み」

3) 東京厚生年金病院 副院長 谷口 茂夫 先生

「当院の災害対策と牛込地区での協力体制」

4) 国立国際医療研究センター 国際医療協力部 仲佐 保 先生

「亜急性期の災害援助について」

### 4. 総合討論 20分

新宿区の、大規模災害時の対応については、大都市における災害対策、帰宅困難者対策、等、三医科大学、四基幹病院、医師会だけでなく、行政、企業も加わった対策、訓練が行われています。東日本大震災から1年を経て、医療関係機関がその後どのような検討をし、対策を考えているか、意見を出し、考え方の共有をしたいと考えて企画しました。お忙しいとは思いますが、是非ご参加下さい。

平成24年2月9日

国立国際医療研究センター 木村壮介